


部品構成


下記の部品が揃っていることを確認してください。()内はその数量です。

パイプ


パイプ



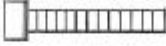
アダプター (×3)




Oリング (×3)



8ミリボルト (×2)



スペーサー (×2)

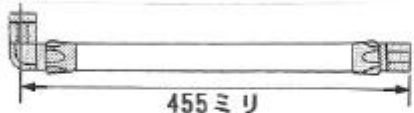


取扱
説明書

参考フューエルライン

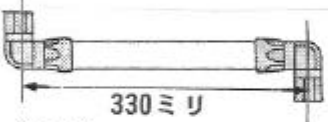
ホース

A (×2)



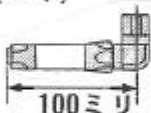
455ミリ

B (×1)



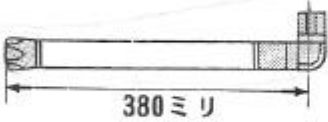
330ミリ

C (×1)



100ミリ


D (×1)




380ミリ

アダプター


3ウェイアダプター (×1)



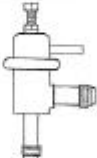
燃圧計アダプター (×1)



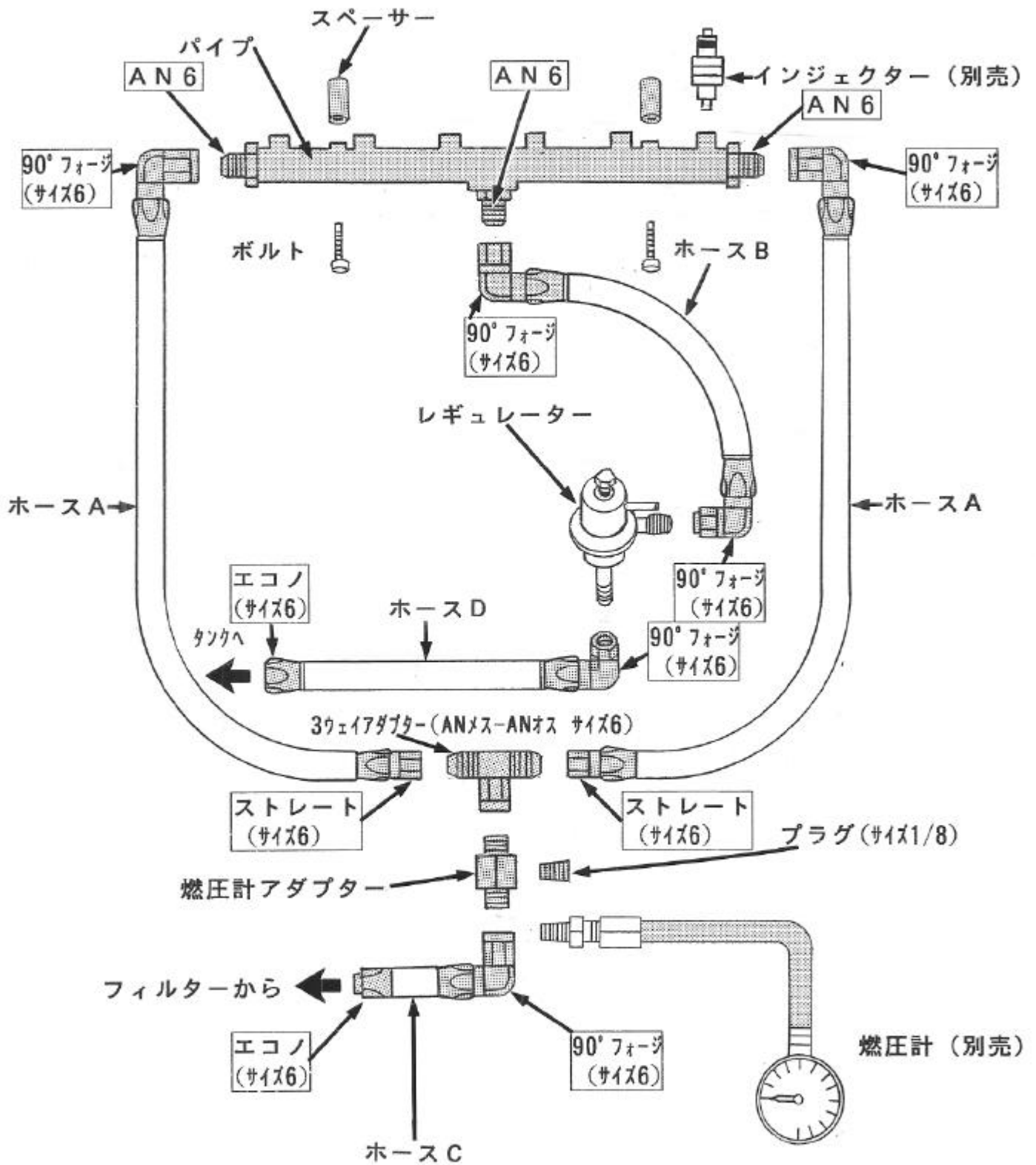
プラグ1/8 (×1)



レギュレーター



システム図



取り付け

⚠ 注意事項

●ガソリンに関わる警告

本品の取り付けに際しては燃料系統の脱着を伴い、ガソリンが流出します。下記事項を確実に守ってください。守らないと、爆発や、火災の恐れがあり危険です。

■作業場所を指定し、作業場所以外では作業をしないでください。

- ①風通しの良い場所
- ②周囲に火気（溶接機、グラインダー、電動モーター、ストーブなど）のない場所
- ③酸化した燃焼が充満する恐れがあるピットなどから離れた場所

■火気使用、火花発生作業は行わないでください。

- ①電気機器の使用禁止
 - ・原則として、作業灯は使用しないでください。
 - ・燃料抜き取りは、電動ポンプおよびポリ容器を使用しないでください。
 - ・溶接機、グラインダー及びドリルなどを使用しないでください。
- ②火花発生作業の禁止
 - ・火花発生の恐れがある作業（ハンマーの使用など）はしないでください。

■静電気の防止および安全への配慮を行ってください。

- ①消火器を準備してください。
- ②静電気を防止してください。
 - ・足元が滑らない程度に、床に水をまいてください。
 - ・フューエルチェンジャー、車両、フューエルタンク間にアース線を接続してください。
- ③燃料が付着したウエスを分別処理してください。

●フィッティング取付時の注意

接続部はアルミ材を使用しています。アルミ材は破損しやすいため、締め付けは慎重かつ正確に実施してください。

■キットのホース接続部はアルミ材です。アルミ材は破損しやすいため、締め付けは慎重かつ正確に実施してください。

■キットのホース接続部にはAN規格のねじ（ANねじ）を使用しています。
ANねじ（エアフォース ネイビー規格）

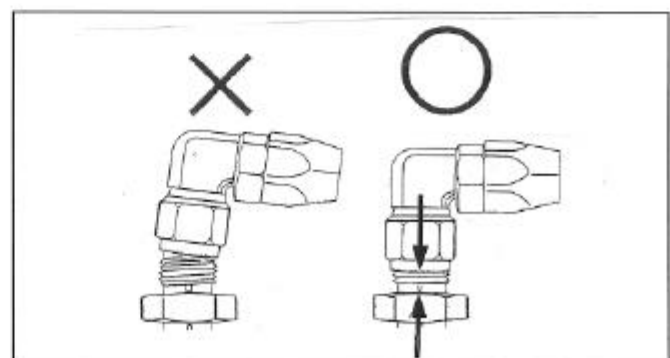
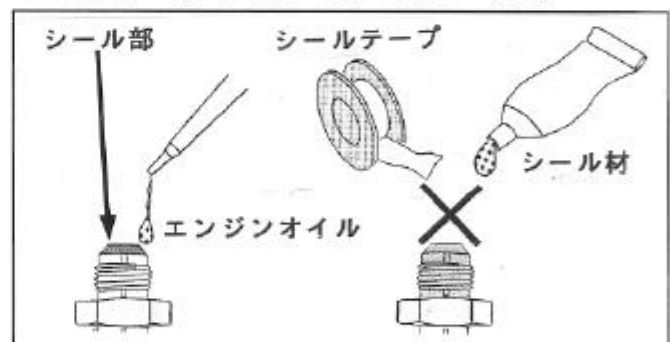
■ANねじは先端のテーパ面でシールします。ねじ部やテーパ面にシール材、シールテープ等を使用しないでください。また、テーパ面に傷やゴミを付けないでください。シール材を用いたり、傷が付くと、シール部が密着せず、オイルがもれます。

■ANねじを締め付ける際はテーパ面に少量のエンジンオイルを塗布し、潤滑させてください。潤滑させないとテーパ面に傷がついてガソリンがもれます。

■ANねじを締め付ける際以下の手順で実施してください。

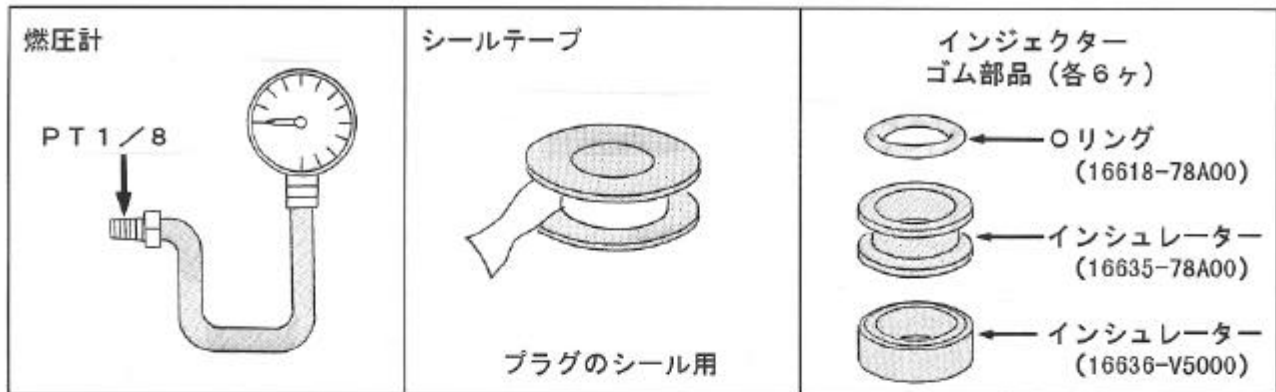
- (1)手で奥まで締める
- (2)工具で本締めする

ねじがかみ合っていない状態で無理に工具で締めると、ねじ部や、本体が破損します。



取り付けに必要な工具類

一般的なエンジン整備用工具一式以外に下記が必要です。



ノーマル取り外し



- タンク内のガソリン残量が空に近い状態で作業してください。
- 取り外しの前に、高圧エアで、ほこりや、ゴミを飛ばしてください。
- ホースを抜くと配管の中に残ったガソリンが流れ出ます。ウエスや、受け皿を使って、広がらないようにしてください。
- 取り外し作業中にゴミなどが、エンジン内部に侵入しないようにガムテープ等を用いてふさいでください。

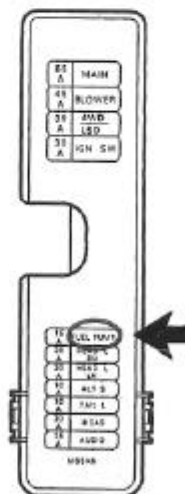
(1) 燃料配管内のガソリンを除去してください。

①フューエルポンプヒューズを取り外してください。

R 3 2 (運転席足元)

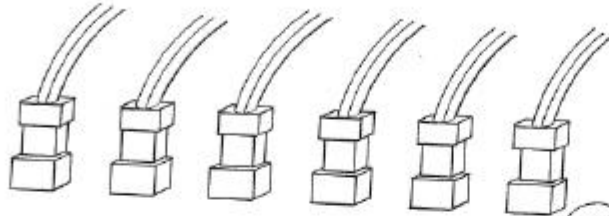
4WD	部 品 子	コ ン ト ロ ル ソ レ ノ ール	コ ン ト ロ ル ソ レ ノ ール	モ ー タ ー	プ ロ ポ グ	ワ イ パ ル	コ ン ト ロ ル ソ レ ノ ール	コ ン ト ロ ル ソ レ ノ ール	フ ィ ー エ ル ソ レ ノ ール	イ グ ニ ッ シ ョ ン ス イ ッ チ	エ ア コ ン	リ ア ブ レ イ ク	ラ イ タ ー	ラ ン プ	ラ ン プ
10A	10A	10A	15A	15A	20A	10A	10A	15A	10A	10A	10A	10A	15A	15A	15A
IGN		ACC			IGN		ACC			BAT					
BAT		ST		BAT		IGN		BAT		IGN					
20A		10A		10A		10A		10A		10A		10A		20A	
アン キ ッ ド		ス タ ー ク レ ッ ト		ハ イ ブ レ イ ク		シ フ ト		ロ ク ク		テ ィ ル		エ ア コ ン		イ グ ニ ッ シ ョ ン ス イ ッ チ	
		ス タ ー ク レ ッ ト		ハ イ ブ レ イ ク		シ フ ト		ロ ク ク		テ ィ ル		エ ア コ ン		イ グ ニ ッ シ ョ ン ス イ ッ チ	

R 3 3 (トランクルーム内)

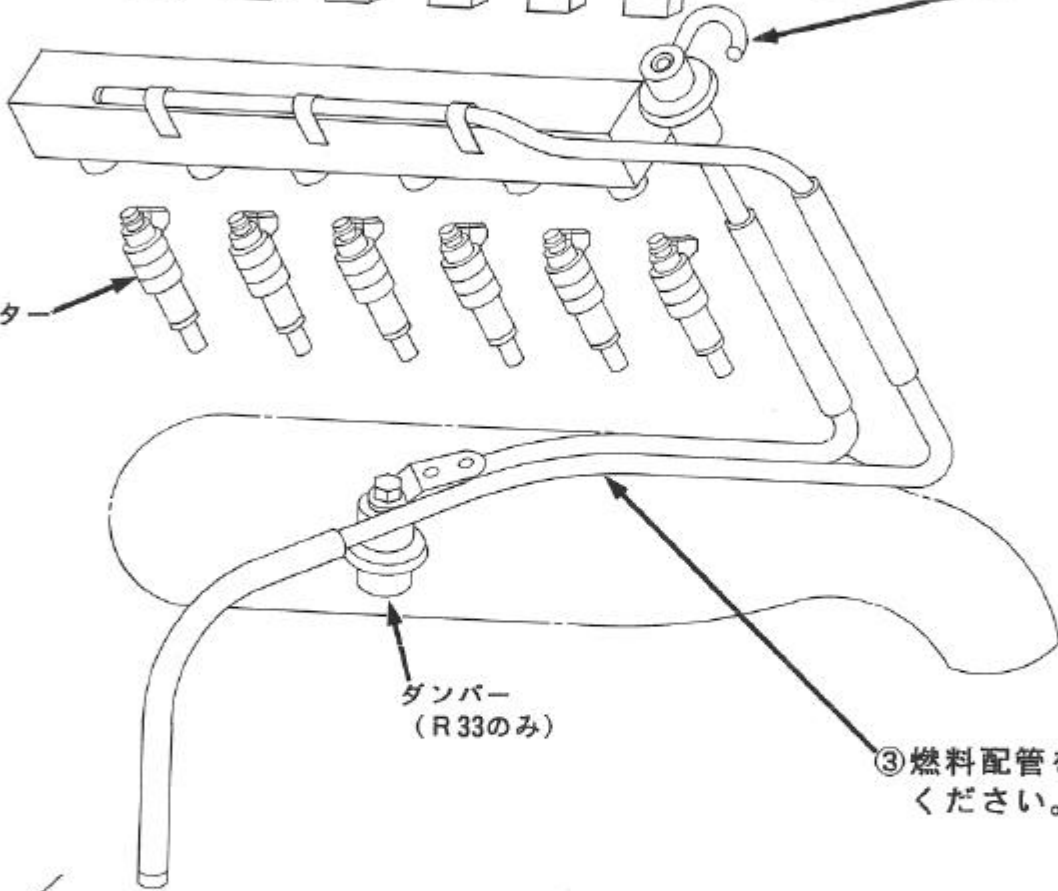
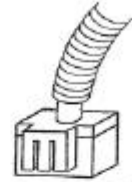


- ②エンジンを始動してください。
- ③自然に停止した後、3~4回クランキングしてガソリンを消費してください。
- ④イグニッションスイッチをOFFにし、バッテリー⊖端子を取り外してください。

①インジェクター等の
コネクターを取り外し
てください。



②バキュームホース
を取り外し
てください。



インジェクター

ダンパー
(R33のみ)

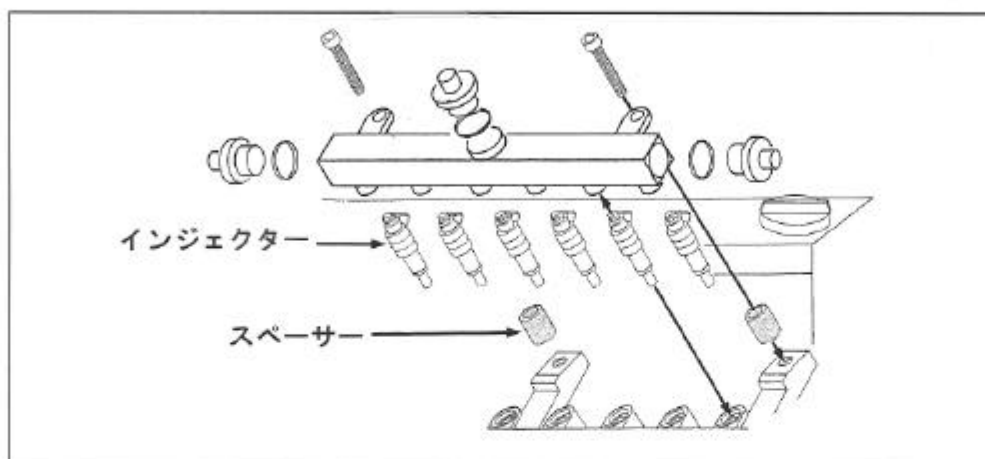
③燃料配管を取り外し
てください。

燃料フィルター

デリバリパイプ取り付け

⚠ 注意

- Oリングにシリコングリスを塗布してください。シリコングリスを塗布しないと、Oリングが損傷し、ガソリンがもれます。
- インジェクターの先端をぶつけないでください。
- 締付部は規定トルクで行ってください。



- ① アダプターフィッティングにOリングを取り付けて、パイプに締め付けてください。

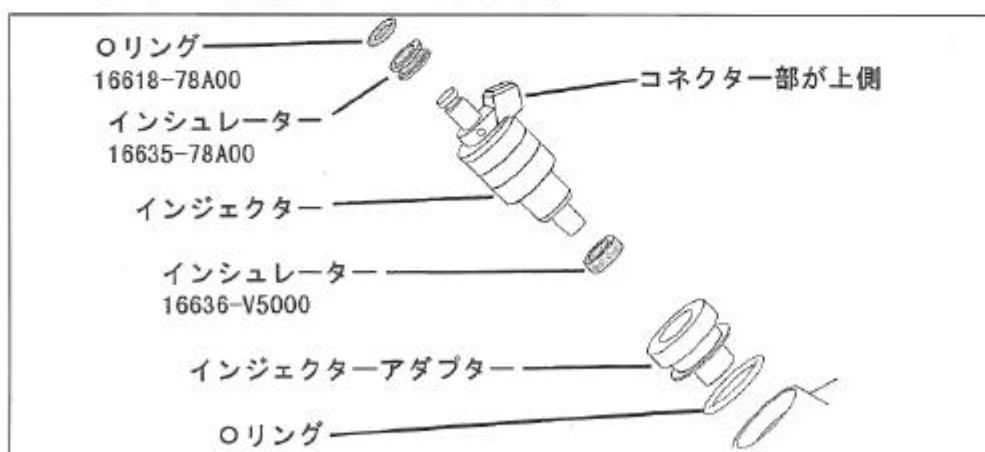
規定トルク T = 2.5 kgm

- ② パイプにインジェクターを取り付けてください。

- ③ 8ミリボルトを用いて、パイプを取り付けてください。

規定トルク T = 1.6 ~ 2.1 kgm

インジェクター組付時の注意事項



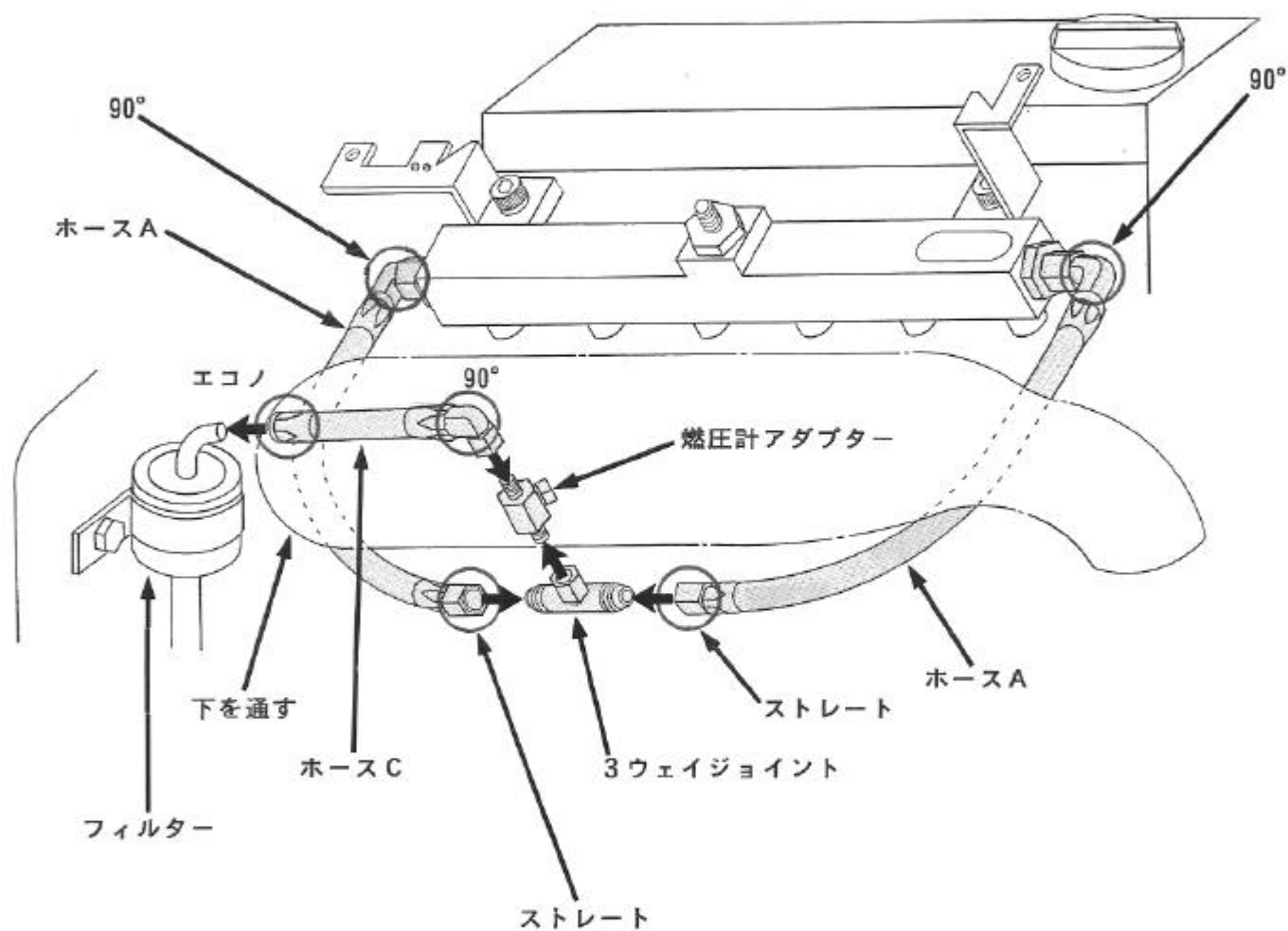
- インジェクターとインシュレーターは新品を使用してください。
- Oリングの取り扱いは、素手で行ってください。手袋を使用すると、糸くずが付き、燃料がもれます。
- Oリング、インシュレーターに傷やゴミ、糸くずの付着がないことを確認してください。傷がある場合は、交換してください。
- Oリングにシリコングリスを塗布してください。
- インジェクターは、取付穴に対して、垂直に挿入し、偏心させたり、回転させたりしないでください。

I N側配管（ホース取付）

⚠ 注意

- ホースの干渉や、張りが無い様に少しづつ位置を整えながら、作業してください。
- ANねじのテーパ面に少量のエンジンオイルを塗布し、潤滑させてください。
潤滑させないと、テーパ面に傷が付いて燃料がもれます。

- ① I N側ホースを仮付けしてください。

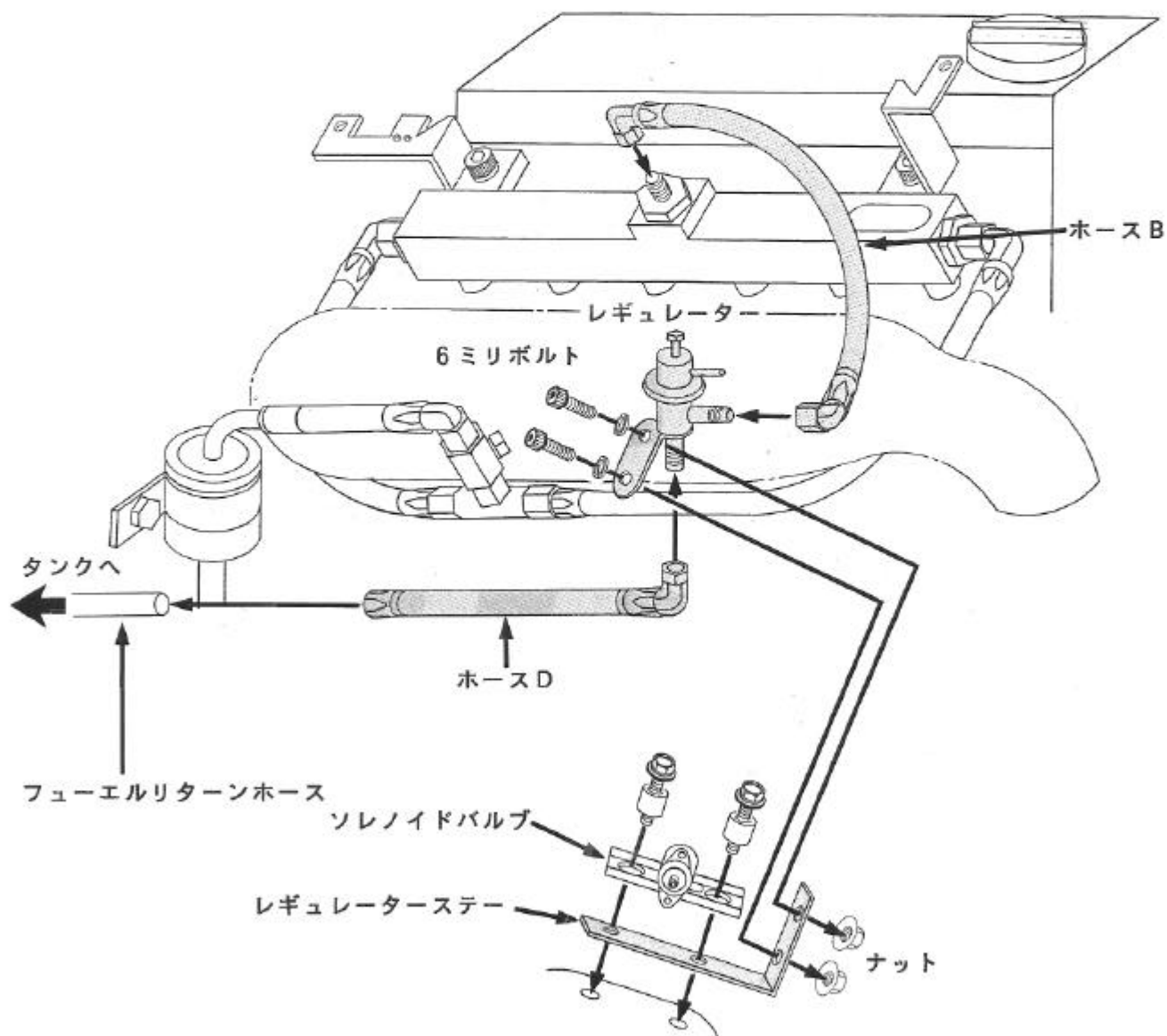


OUT側配管（ホース取付）

⚠ 注意

- ホースの干渉や、張りが無いように少しづつ位置を整えながら、作業してください。
- ANねじのテーパ面に少量のエンジンオイルを塗布し、潤滑させてください。潤滑させないとテーパに傷がついて燃料が漏れます。

- ①ボルト2本を緩め、ソレノイドバルブを一旦外してください。
- ②レギュレーターステーをソレノイドバルブに共締めしてください。
- ③6ミリボルトを用いて、レギュレーターをステーに取り付けてください。

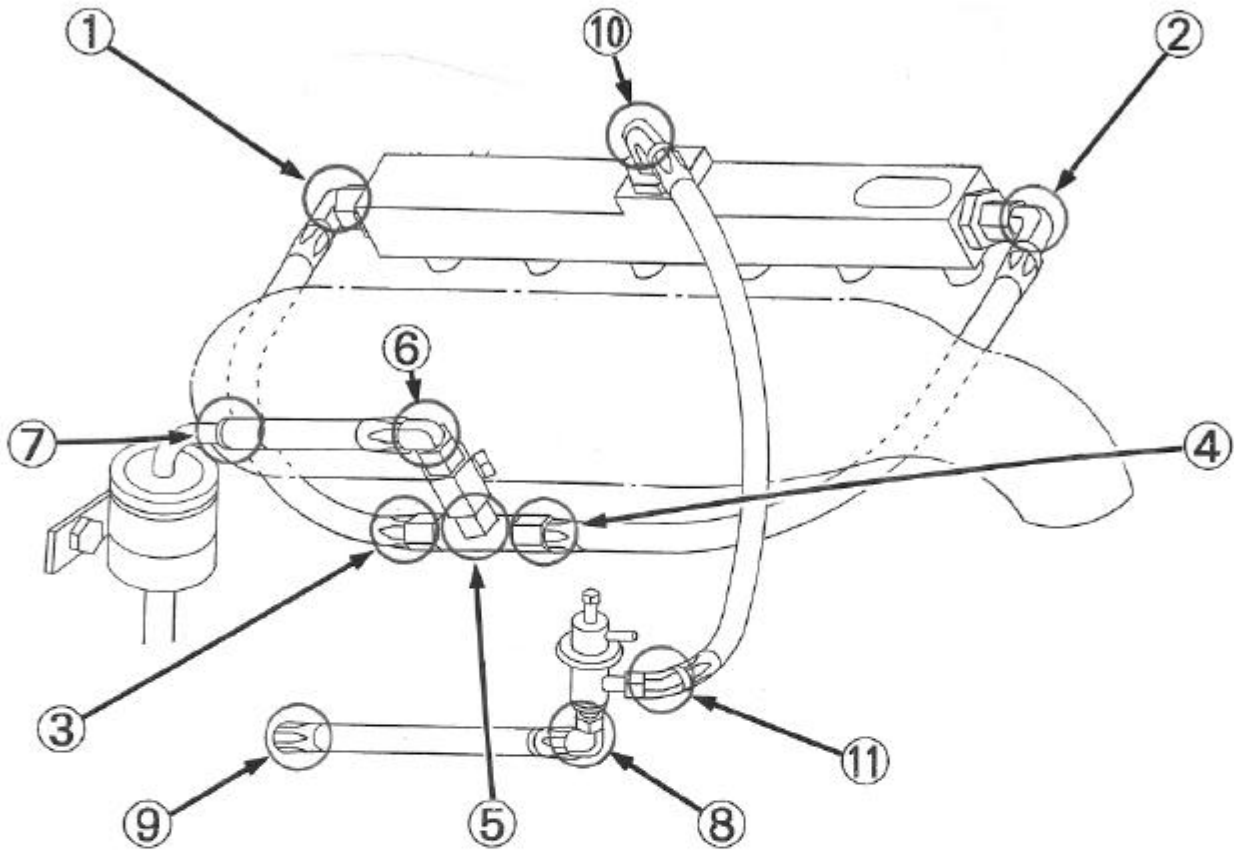


ホース本締め



注意

■ホースの干渉や、張りが無いように少しづつ位置を整えながら、作業してください。



ホース固定

タイラップ大を用いて、ホースを固定してください。

各部仕上げ作業

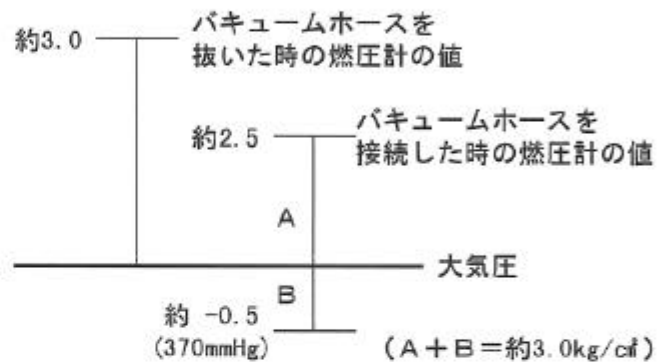
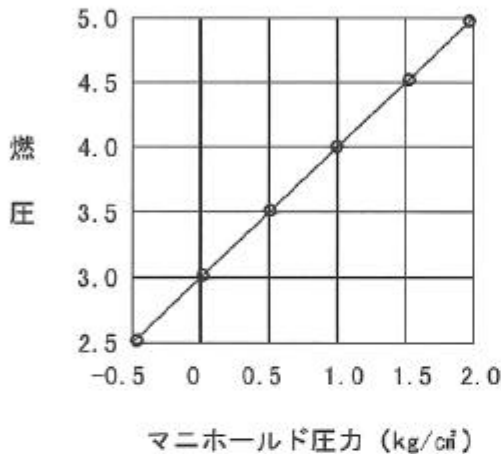
- ①バキュームホースを接続して、タイラップ小で固定してください。
- ②外したコネクターや、ブローバイホースを取り付けてください。
- ③フューエルポンプヒューズを取り付け、バッテリー⊖端子を接続してください。

燃圧調整、もれ点検

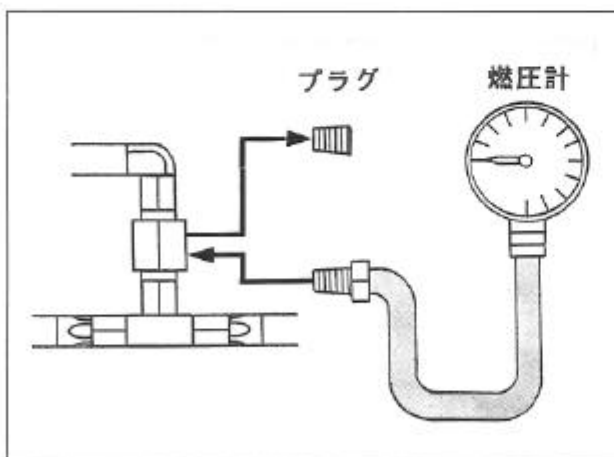
⚠ 注意

■燃圧は必ず基準値に合わせてください。

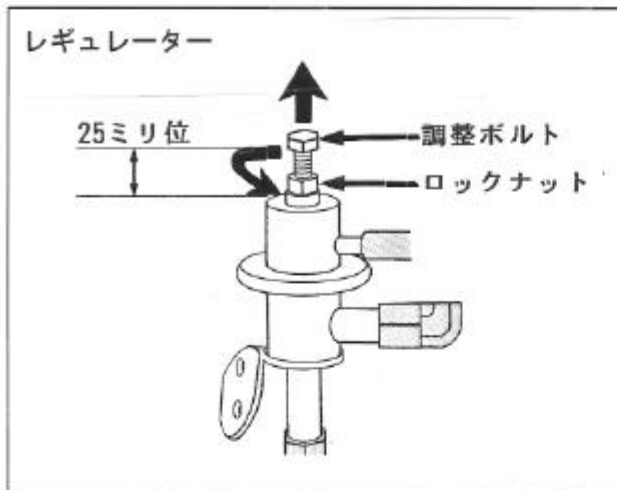
燃料噴射はインテークマニホールドに行われるため、燃圧が一定では負圧によって燃料噴射量に差が出ます。(負圧高→燃料噴射増 負圧低→燃料噴射少)そこでレギュレーターがインテークマニホールド圧力に感応し、燃圧を適正值(燃圧がマニホールド圧力に対し約3.0kg/cf高)に調整しています。組付時の燃圧調整を上記の基準で実施すれば、走行時は過給圧に応じてレギュレーターが適正值に調整します。



■インジェクターには製造メーカーの耐シール保証圧(4.5kg/cf)があります。インジェクターのシール部に保証圧以上の圧力がかかると、ガソリンが漏れる恐れがあるため、燃圧が最も高くなる最大過給時に、この保証圧を超えないよう設定してください。



①燃圧計アダプターに、燃圧計を接続してください。

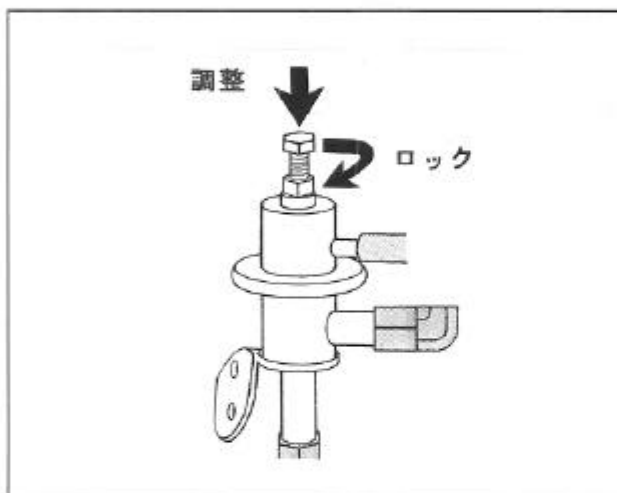


②レギュレーターのロックナットを緩め、調整ボルトを25ミリ位まで緩めてください。

③ガソリンもれ点検（1回目）を実施してください。

キースイッチをONにして、ガソリンのもれが無いことを確認してください。
（エンジンはかけない）

④エンジンを始動してください。



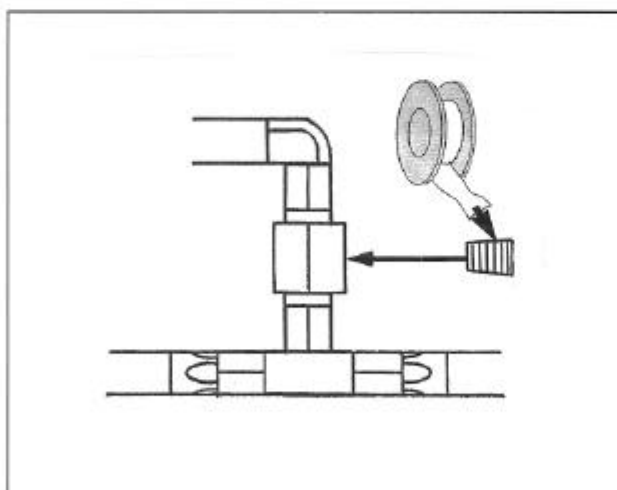
⑤ガソリンもれ点検（2回目）を実施してください。

2500rpmを3分間保ち、ガソリンのもれが無いことを確認してください。

⑥調整ボルトを締め込んで燃圧を設定し、ロックナットで固定してください。

⑦ガソリンもれ点検（3回目）を実施してください。

設定燃圧（最大燃圧）の時に、もれが無いことを確認してください。



⑧燃圧計を取り外し、シールテープを介して、プラグを締め付けてください。

⑨プラグ部のガソリンもれ点検を実施してください。

参考

標準エンジン（RB26DETT）の燃圧規定値

キースイッチON時	約3.0kg/cm ²
アイドル時（レギュレーターホース接続）	約2.5kg/cm ²
アイドル時（レギュレーターホース外す）	約3.0kg/cm ²

仕様

パイプ

- 材質 アルミ
- 表面処理 アルマイト
- 容量 250cc (ノーマル190cc)
- 重量 250g (フィッティング含む)
- INJ取付部寸法
 - ・JECs用 内径 ϕ 10.45
 - ・DENSO用 内径 ϕ 10.90
- 適合INJ例
 - ・STD 444cc 16600 05U02
 - ・TOMEI 444cc 195013
 - ・TOMEI 555cc 195014
 - ・TOMEI 600cc 195015
 - ・ニスモ 555cc 16600 RR420
 - ・ニスモ 600cc 16600 RRR60

営業部 042-795-8411

●この製品に関わる取り付け、操作上のご相談は上記へお願いします。

営業時間：月～金（祝祭日、年末年始等を除く）9：00～18：00

TOMEI POWERED INC.
株式会社 東名パワード

〒194-0004 東京都町田市鶴間1737-3
TEL 042-795-8411(代)
FAX 042-799-7851

RB26フューエルデリバリアイプ取扱説明書 02年11月 M19065